

安全な生活を送るために（生徒用）

～自分の命を守るために～

年 組 氏名

自分の命を守るためにどうすればいいでしょう。
家の人と考えてみましょう。

1. 知らない人から声をかけられました。

Q1 あなたが一人で道を歩いていると、車から優しそうな知らない大人（男性）が、すごく困った様子で、あなたに話しかけてきました。「急にお腹が痛くなって困っています。病院に行きたいんですけど、車に乗って病院まで案内をしてもらえませんか。」

どうしますか？

- ① 優しそうな人だし、困っているのだから、車に乗って案内する。
- ② 交番やガソリンスタンドで聞いて下さいと言い、車の進行方向と反対方向に立ち去る。
- ③ 車からは距離を置き、「近くの大人に知らせてあげます。」と言って、近くの大人や交番等に知らせる。
- ④ 知らない人にはついて行かない。
- ⑤ 無視して立ち去る。
- ⑥ 車には乗らないが、車に近寄って地図等を見ながら教えてあげる。

絶対に守ること

Q2 知らない人に、車で連れていかれそうになりました。どうしますか？

- ① 防犯ブザーやホイッスル（笛）を鳴らす。
- ② 大声を出して、助けを求める。
- ③ 暗くて静かなところに隠れる。
- ④ 近くのお店や家に逃げ込む。
- ⑤ すぐに走って逃げる。

絶対に守ること

2. 外出しようとする時、外出した時に・・・。

Q3 家から友だちの家や図書館等に外出しようとしています。どうしますか？

- ① 家の人に話して、出かける。
- ② 家の人に黙って、出かける。
- ③ 家の人がないので、出かける。
- ④ 家の人がないので、行先と帰宅予定時刻をメモに書いて出かける。

絶対に守ること

Q4 外出先で帰宅が予定よりも遅くなりました。帰り道には、暗い寂しい場所があります。どうしますか？

- ① 勇気を出して一人で帰る。
- ② 自宅（保護者）に連絡して、大人に迎えに来てもらうようにする。
- ③ タクシーを利用して帰宅する。（着払いなど。）
- ④ 同じ方向の人を見つけてついて帰る。

絶対に守ること

3. 携帯電話・スマホに連絡が来たら・・・。

Q5 無料アプリなどのやりとりで知り合った人の求めに応じて、気軽に自分の顔写真など個人情報を送ってしまいました。その後、その相手から、「直接会いませんか。」というメッセージが届きました。どうしますか？

- ① 優しい人を感じたので会う。
- ② 相手の顔写真など、相手のプロフィールを見てからどうするか考える。
- ③ 保護者や先生に相談する。
- ④ 会わない。

絶対に守ること

Q6 まったく知らない人から「友だちになりませんか。」とメールが届きました。どうしますか？

- ① 返信しないと失礼なので返信する。
- ② メールを無視する。
- ③ メールを削除する。

絶対に守ること

4. こんなこと、知っていますか・・・。

Q7 みんなのまわりには、みんなを守ってくれるお店や交番などがあります。
どこにあるか、知っていますか？

- ・子ども110番のいえ
- ・知り合いの家
- ・交番・警察署
- ・消防署
- ・郵便局

Q8 みんなの家の近くや学校の近くにも、危険な場所があります。
どこにあるのか、家の人と確かめておきましょう。
また、絶対に守ることを、書いてみましょう。

家の人と話し合ったこと

絶対に守ること

5. もういちど、たしかめましょう。

(1) でかけるときは、おうちの人につぎの4つをつたえよう。

- ①だれと。
- ②どこに。
- ③何をしに。
- ④何時ころまで。



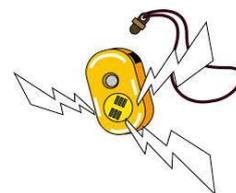
(2) 知らない人につれていかれそうになったら・・・。

- ①いかない。
- ②のらない。
- ③おお声で助けをよぶ。
- ④すぐににげる。
- ⑤しらせる。



(3) こわいときには・・・。

- ①近寄らない、すぐに逃げる。
- ②おお声で叫ぶ、助けを求める。
- ③近くの店や家に逃げる。
- ④防犯ブザーなどを鳴らす。



(4) 家にかえってきたときには・・・。

- ①いえの鍵を見せない。
- ②いえのまわりをよく見る。
- ③ゆうびんポストをチェック。
- ④だれもいなくても「ただいま」。
- ⑤なかに入ったら、すぐに戸締り。



安全な生活を送るために ～自分の命を守るために～ 解説編（保護者用）

1. 知らない人から声をかけられました。

Q 1. あなたが一人で道を歩いていると、車から優しそうな知らない大人（男性）が、すごく困った様子で、あなたに話しかけてきました。「急にお腹が痛くなって困っています。病院に行きたいんですけど、車に乗って病院まで案内をしてもらえませんか。」どうしますか？

《望ましい答え》②交番やガソリンスタンドで聞いて下さいと言い、車の進行方向と反対方向に立ち去る。

③車からは距離を置き、「近くの大人に知らせてあげます。」と言って、近くの大人や交番等に知らせる。

④知らない人にはついて行かない

《解説》悪い人が巧妙な誘い方で声をかける、いわゆる声かけ事案が発生しています。例題では、腹痛を訴える人ですが、その他、交際をもちかける、いわゆる「ナンパ系」や「お父さんが怪我をして連れてくるよう頼まれた。」などと言ったり、最初から脅して腕をつかもうとするなど、方法は多様です。状況判断が大切であり、相手の様子を見て、不審な動きがあれば、すぐにその場から逃げるのが大切です。様々な状況と対応について、話し合いを深めて下さい。

Q 2. 知らない人に、車で連れていかれそうになりました。どうしますか？

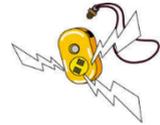
《望ましい答え》①防犯ブザーやホイッスル（笛）を鳴らす。

②大声を出して、助けを求めろ。

④近くのお店や家に逃げ込む。

⑤すぐに走って逃げる。

《解説》気を付けていても、こわい目にあうことがあります。危険場面での行動の仕方について、普段から考えておくことが大切です。防犯ブザーは、時々鳴らして音が出ることを確認して下さい。いざという時、すぐ使えるよう、スカートやズボンの吊りひも、カバン等の手の届く位置につけておくようにしましょう。また、外出時には、防犯ブザーの代わりにホイッスル（笛）なども効果的です。



2. 外出しようとする時、外出した時に・・・。

Q 3. 家から友だちの家や図書館等に外出しようとしています。どうしますか？

《望ましい答え》①家の人に話して、出かける。

③家の人がいないので、出かける。

④家の人がいないので、行先と帰宅予定時刻をメモに書いて出かける。

《解説》外出時の約束についてご家族でよく話し合い、お子様が黙って出かけることのないように十分ご指導下さい。連絡が取れない場合はメモで伝える等、事前に連絡方法の約束をしておくことが大切です。



Q 4. 外出先で帰宅が予定よりも遅くなりました。帰り道には、暗い寂しい場所があります。どうしますか？

《望ましい答え》②自宅（保護者）に連絡して大人に迎えに来てもらうようにする。

《解説》気を付けていても、こわい目にあうことがあります。まず、自宅（保護者）に電話をすること、そしてまた、大人などに迎えに来てもらうことが必要です。危険場面での行動の仕方について、普段から考えておくことが、危険回避能力を高めることとなります。

3. 携帯電話・スマホに連絡が来たら・・・。

Q 5. 無料アプリなどのやりとりで知り合った人の求めに応じて、気軽に自分の顔写真など個人情報を送ってしまいました。その後、その相手から、「直接会いませんか。」というメッセージが届きました。どうしますか？

《望ましい答え》③保護者や先生に相談する。

④会わない。

《解説》スマホの無料通信アプリを利用した様々な犯罪やトラブルが増加しています。断ってもストーカー被害にあうこともあります。ご家庭で常に利用の仕方について確認し、正しいルールを身につけられるようご指導下さい。

Q 6. まったく知らない人から「友だちになりませんか。」とメールが届きました。どうしますか？

- 《望ましい答え》②メールを無視する。
③メールを削除する。

《解説》心当たりのないメールには、絶対に返信しないようにしましょう。携帯電話やスマホ等について、ご家庭で常にご利用の仕方について確認し、正しいルールを身につけられるよう指導することが必要です。

4. こんなこと知っていますか・・・。



Q 7. みんなのまわりには、みんなを守ってくれるお店や交番などがあります。どこにあるか、知っていますか？

《望ましい答え》すべて知っている。

《解説》「いざ」という時のことを考えて、防犯の視点から地域の「子ども110番 青少年を守る店・守る家」等を、お子様と一緒に確認していただきますようお願いいたします。

Q 8. みんなの家の近くや学校の近くにも、危険な場所があります。どこにあるのか、家の人と確かめておきましょう。また、絶対に守ることを、書いてみましょう。

《解説》

- (1) 地域や学校等で行っている防犯活動の具体的内容をよく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様と一緒に調べ、確実に内容を把握して下さい。
- (2) 挨拶の励行を始め、近所の方や地域で活動されている方々とお子様や保護者が「知り合い」「顔見知り」になることが子どもたちの安全を守るために必要です。
- (3) 日頃から慣れている場所で、子どもたちにとって危険な場所はたくさんあります。買い物に出かけた時など地域を歩いて実際に場所を確認しましょう。

5. もういちど確かめましょう。

《解説》

- (1) お子様が出出するときには、「①だれと」「②どこに」「③何をしに」「④何時ころまで」の4つを必ず伝えてから出かけることを、日頃からご指導下さい。そういった毎日の習慣が、子どもたちの命を守ることにつながります。
- (2) 防犯標語は、犯罪に巻き込まれないための注意事項や不審な声かけからの対処方法を子どもになじみやすい形でまとめたものです。子ども自身に、「自分のことは自分で守る」意識を認識させましょう。

いかない のらない おお声で助けをよぶ すぐににげる しらせる

- (3) こわいなと感じた時には、「①近寄らない。すぐに逃げる」「②大声で叫ぶ。助けを求める。」「③近くの家や店に逃げる。」「④防犯ブザーなどを鳴らす」といったことも、日頃からお子様にご指導下さい。
- (4) 防犯標語としては、他に、「いいゆだな」等があります。こういった標語は、日常の行動の中に当てはめながら覚えるようにすることが大切です。

「いいゆだな」の意味

- えの鍵を見せない。
(ひもでぶら下げた鍵をカバンの横や服の上から見えるようにしない)
- えの周りをよく見る
(不審者がついてきていないか確かめる。特にエレベーターを利用する子ども)
- うびんポストをチェック
(郵便受けに新聞や手紙がたまっていると、留守がちな家だと思われる)
- だれもいなくても「ただいま」。
(不審者に、家に誰かいると思わせる。)
- かに入ったら、すぐ戸締り。
(鍵を開けた時に、不審者に中に入られないように気を付ける。)



- ※エレベーターホール等に見かけない人がいないか周囲を確認する。
- ※不審者を発見した時は、管理人や管理組合の人に知らせる。
- ※エレベーターは、非常ベルや各階のボタンを押せる位置に乗る。
- ※後ろから襲われないように壁を背にして乗る。
- ※知らない人と二人だけで乗った時は直近の階でエレベーターを降りる。